

東北・北海道ブロック 平成22年度 林業グループコンクール

1 開催概要

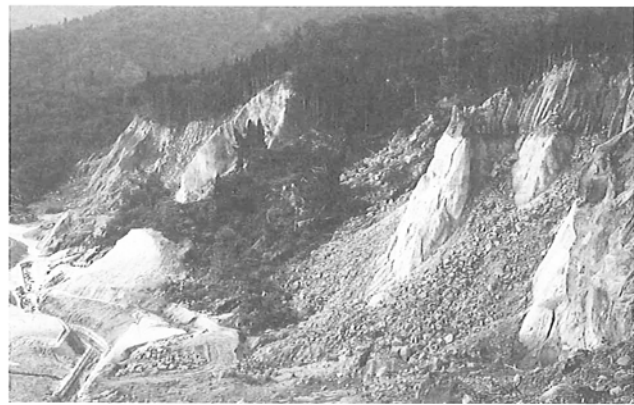
平成22年9月2日から3日にかけて、宮城県、宮城県林業研究会連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会の主催により東北・北海道ブロック林業グループコンクールが宮城県栗原市で開催されました。

このコンクールは、林業グループが日頃取り組んでいる活動・研究などの成果を発表、討議することによって、林業グループ相互の発展・資質の向上を図るもので、東北6県と北海道を合わせた7道県が開催地を持ち回りで開催しています。

最も優秀な発表事例については、平成23年3月に東京で開催される全国コンクールへの出場権が得られることから、各道県内での活動の中からも選りすぐりの優良活動事例が報告されました。

また、コンクールでは事例発表のほか、現地視察も行われました。今年度は宮城県栗原市での開催ということで、平成20年6月に発生し

た岩手・宮城内陸地震の被災地とその復興状況を視察しました。



震災現場「荒砥沢」

2 活動事例発表

秋田県 白神森林組合青年部

「5ミリの種」と題して、環境学習などの取組を発表。

北海道 網走中央林業グループ

「網走中央林業グループの25年」と題して、後継者対策などの取組を発表。

山形県 大江光林会

「山は宝を」を次の世代へ」と題して、間伐や作業路開設などの取組を発表。

青森県 松野木まつたけ研究会

「里山環境整備とマツタケ増産に向けた取り組み」と題して発表。
宮城県 南三陸町山の会

「森林づくり、人づくり、地域づくり」と題して集団間伐の取組などを発表。

福島県 田人林業研究会

「田人林研の森林づくり」と題して、森林所有者への施業の働きかけなどの取組を発表。



コンクール表彰式

岩手県 はなみずきの会

「女性グループによる山村振興の取組み」と題して、定例市開催

や商品開発などの取組を発表。

以上の発表に対する審査が行われた結果、最優秀賞に宮城県、優秀賞に山形県が選ばれました。岩手県は惜しくも優良賞でしたが、女性グループ特有の悩みを抱えながら28年もの長い間活動を続けていることが高く評価されました。

主催者である宮城県の林研グループ会員が揃いのTシャツを身につけ、スタッフとして多数参加しており、宮城県林研の底力をかいま見ました。ちなみに、このTシャツのロゴは宮城県林業研究会連絡協議会長のデザインだそうです。

全国コンクールでの宮城県の上位入賞を祈念しております。



Tシャツ
(宮城県北部地方振興事務所 渡邊さん)

来年度の開催地は北海道です。発表を希望する林研グループは今から準備をお願いします。

林業技術センター普及班

019(698)1337